

家畜・家禽用マンノース含有飼料 『ココエース』の販売開始について

当社は、従来から好熱菌など各種微生物由来の様々な酵素を開発し販売しておりますが、この度、これらの酵素技術とバイオ技術を応用して、家畜・家禽の腸内へのサルモネラ菌や大腸菌の定着を防ぐ配合飼料原料を開発し、『ココエース』の商標で販売を開始いたします。

『ココエース』には、天然由来の機能性糖質の一種であるマンノースが多量に含まれています。マンノースは、サルモネラ菌や大腸菌などの有害細菌の腸管への定着を抑制するばかりではなく、すでに腸管に定着した有害細菌をも体外に排出させる効果も期待されています。『ココエース』を採卵鶏、ブロイラー、豚などの配合飼料に少量添加することで、有害細菌に起因する家畜・家禽への悪影響を低減させることが期待されます。また、製造工程で使用される酵素の作用により原料のコブラミールが含む栄養成分が吸収されやすくなっており、成長と生産性の向上にも役立ちます。

当社は、この家畜・家禽用マンノース含有飼料『ココエース』を新規事業のひとつとして育成し、配合飼料メーカーへの販売を積極的に取り組んでいきます。

1. 開発の背景

毎年、夏場を中心に多くの被害を出している食中毒。その原因菌のひとつであるサルモネラ菌は、鶏卵および鶏肉からの感染が主な原因といわれています。また、病原性大腸菌を原因とする大腸菌症により死亡する子豚が多く、養豚業界での生産性のダウンが問題視されてきました。

ユニチカは、以前より好熱菌を中心に様々な微生物から有用な酵素を開発しており、体外診断薬、各種分析用試薬などに幅広く適用されています。中央研究所では、この研究の一環として機能性糖質の開発を進める中で、上述のような効果を有するマンノースを効率よく生産する技術の開発に成功しました。

こういった背景から当社は、農林水産省の外郭団体である（財）食品産業センターから助成を受け、マンノース含有飼料『ココエース』の事業化を目指して開発を進めてまいりました。そして、約半年間の求評活動の結果、本格的に販売を開始することになりました。

2. 技術内容

(1) 製法

ヤシ油抽出粕(コプラミール)を酵素処理することにより、コプラミールに含まれるマンノース重合物をマンノースに変換します。

(2) 成分

『ココエース』中には、マンノースが約10%含まれています。その他の成分として腸内の細菌叢を整えるオリゴ糖や多糖などの繊維質を豊富に含んでおり、蛋白質や脂肪も含有しています。

(3) 特許(出願中)

- ・製法(酵素処理)
- ・物質

3. 用途

養鶏、養豚用など。

4. 販売展開

(1) 販売開始

2000年4月17日

(2) 販売計画

3年後 10億円

以上